

様式 1

(自 令和4年3月1日 至 令和5年2月28日)

(1) 名 称 医療法人社団 優音会

- 注) ①から③のそれぞれの項目(③は社団のみ。)について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。(会計年度内に変更があった場合は変更後。)

注) 複数の事務所を有する場合は、主たる事務所と従たる事務所を記載すること

(4) 設立登記年月日 令和2年4月1日

(5) 役員及び評議員

[illegible]

3. 評議員の備考欄に、評議員の選任理由を記載すること。(医療法第49条の4参照)

2 事業の概要

(1) 本来業務（開設する病院、診療所又は介護老人保健施設（医療法第42条の指定管理者として管理する病院等を含む。）の業務）

種 類	施設の名称	開 設 場 所	許可病床数
病 院			
診療所	ながたクリニック	静岡県浜松市中区船越町6番21号	一 般 病 床 0 床 療 養 病 床 0 床 [医 療 保 険 0 床] [介 護 保 険 0 床]
介護老人 保健施設			

- 注) 1. 地方自治法第244条の2第3項に規定する指定管理者として管理する施設については、その旨を施設の名称の下に【 】書で記載すること。
2. 療養病床に介護保険適用病床がある場合は、医療保険適用病床と介護保険適用病床のそれぞれについて内訳を【 】書で記載すること。
3. 介護老人保健施設の許可病床数の欄は、入所定員及び通所定員を記載すること。

(2) 附帯業務（医療法人が行う医療法第42条各号に掲げる業務）

種類又は事業名	実 施 場 所	備 考

- 注) 地方公共団体から委託を受けて管理する施設については、その旨を施設の名称の下に【 】書で記載すること。

(3) 収益業務（社会医療法人又は特別医療法人が行うことができる業務）

種 類	実 施 場 所	備 考

(4) 当該会計年度内に社員総会又は評議員会で議決又は同意した事項

令和4年4月20日	令和3年度決算の決定
令和5年2月28日	令和5年度の事業計画及び収支予算の決定
令和5年2月28日	令和5年度の借入金額の最高限度額の決定
令和5年2月28日	理事及び監事の報酬額の決定

注) 以下については、病院又は介護老人保健施設を開設する医療法人が記載し、診療所のみを開設する医療法人は記載しなくても差し支えないこと。

(5) 当該会計年度内に開設（許可を含む）した主要な施設

(6) 当該会計年度内に他の法律、通知等において指定された内容

(7) そ の 他

注) 当該会計年度内に行われた工事、医療機器の購入又はリース契約、診療科の新設又は廃止等を記載する。（任意）

様式2

法人名 医療法人社団 優音会
所在地 静岡県浜松市中区船越町6番21号

※医療法人整理番号

財 産 目 録
(令和5年2月28日現在)

1. 資 産 額 79,680 千円
2. 負 債 額 11,728 千円
3. 純 資 産 額 67,952 千円

(内 訳)

(単位：千円)

区 分	金 額
A 流 動 資 産	47,409
B 固 定 資 産	32,271
C 資 産 合 計 (A + B)	79,680
D 負 債 合 計	11,728
E 純 資 産 (C - D)	67,952

(注) 財産目録の価額は、貸借対照表の価額と一致すること。

土地及び建物について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。

土 地 (☐ 法人所有 ☒ 賃借 ☐ 部分的に法人所有 (部分的に賃借))
建 物 (☐ 法人所有 ☒ 賃借 ☐ 部分的に法人所有 (部分的に賃借))

法人名 医療法人社団 優音会
所在地 静岡県浜松市中区船越町6番21号

※医療法人整理番号

貸 借 対 照 表
(令和5年2月28日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I 流 動 資 産	47,409	I 流 動 負 債	11,449
II 固 定 資 産	32,271	II 固 定 負 債	279
1 有 形 固 定 資 産	8,213	負 債 合 計	11,728
2 無 形 固 定 資 産	0	純 資 産 の 部	
3 そ の 他 の 資 産	24,057	科 目	金 額
		I 基 金	8,000
		II 積 立 金	59,952
		(うち代替基金)	0
		III 評価・換算差額等	0
		純 資 産 合 計	67,952
資 産 合 計	79,680	負債・純資産合計	79,680

(注) 経過措置医療法人は、純資産の部の基金の科目の代わりに出資金とするとともに、代替基金の科目を削除すること。



法人名 医療法人社団 優音会
所在地 静岡県浜松市中区船越町6番21号

※医療法人整理番号

損益計算書
(自 令和4年3月1日 至 令和5年2月28日)

(単位：千円)

科 目	金 額
I 事業損益	
A 本来業務事業損益	
1 事業収益	143,229
2 事業費用	130,877
本来業務事業利益	12,352
B 附帯業務事業損益	
1 事業収益	0
2 事業費用	0
附帯業務事業利益	0
事業利益	12,352
II 事業外収益	1,677
III 事業外費用	1,760
経常利益	12,269
IV 特別利益	2,184
V 特別損失	0
税引前当期純利益	14,454
法人税等	2,692
当期純利益	11,761

(注) 1. 利益がマイナスとなる場合には、「利益」を「損失」と表示すること。
2. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。



監 事 監 査 報 告 書

医療法人社団 優音会

理事長 永田 武士 殿

私は、医療法人社団 優音会の令和4会計年度（令和4年3月1日から令和5年2月28日まで）の業務及び財産の状況等について監査を行いました。その結果につき、以下のとおり報告いたします。

監査の方法の概要

私は、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、本部及び主要な施設において業務及び財産の状況を調査し、事業報告を求めました。また、事業報告書並びに会計帳簿等の調査を行い、計算書類、すなわち財産目録、貸借対照表及び損益計算書の監査を実施しました。

記

監査結果

- (1) 事業報告書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。
- (3) 計算書類は、法令及び定款に従い、損益及び財産の状況を正しく示しているものと認めます。
- (4) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

令和5年4月20日

医療法人社団 優音会

監事 余語 宏介



(注1) 監査人が複数の場合には、「私たち」とする。

(注2) 関係事業者との取引がある医療法人については、「財産目録、貸借対照表、損益計算書及び関係事業者との取引の内容に関する報告書」とし、社会医療法人債を発行する医療法人については、「財産目録、貸借対照表、損益計算書、純資産変動計算書、キャッシュ・フロー計算書及び附属明細表」とする。